

全国農政連推薦・県農政連公認  
参議院議員藤木しんやの

## 永田町でも「百姓宣言」

「二人も離農者を出さない」

【豪雨災害が九州を襲う】

九州などで記録的な大雨をもたらした「7月豪雨」は各地で観測史上最大の降水量が相次ぎ、多くの農業者が被害に遭われましたこと、心からお見舞い申し上げます。

復旧作業の手を止めてご対応いただき複雑な心ではありましたが、私も熊本、福岡の被災地に入りました。冠水した牛舎、水稲、葉たばこや牧草ロールの流入、JA施設への浸水などの被害状況を視察し、農水省の災害対策本部で被災状況を報告しました。

今回被災した福岡県の地域では3年連続の豪雨被害となりました。対応していたいただいた農家の方には、私の顔を見るやいなや涙を流される方もいらっしゃいました。この3年で4回目の被災による減収は本当にきびしく、営農意欲をなくされるのも当然だと思えます。私にできることは被災状況を把握し、生産現場で一番必要な支援策を早急に講じることです。

梅雨につづいて台風シーズンを迎えます。被災された農家が安心して営農の復旧・再開に取り組める対策を早急に示し、災害からの復旧がこの先何十年にも希望を持って農業に打ち込める環境づくりとして、生産基盤の強化に

繋がるように全力で取り組んでまいります。

## 「コロナ禍を機に消費者ととも」

7月17日に経済財政運営の基本方針である「骨太の方針」が閣議決定されました。今回の骨太方針では、コロナ禍をふまえて「総合的な食料安全保障の確立」を掲げ、生産基盤の強化や食料自給率・自給力の向上などに向けて加工食品や外食・中食向け原料の国産の切り替えや国産麦・大豆等の増産、輸出拡大などに力を入れる方針となっています。

緊急事態宣言が解除され、東京を中心に再び感染拡大している新型コロナウイルス。コロナ禍で多くの国民の皆さんが食の安全保障に対して強い危機感をもったことは事実です。日本農業の発展には、農業者はもとより国民の皆様の意識改革も必要です。

国民全体で農業、農村を次世代につなげていきたいと考えています。



▲農水省緊急自然災害対策本部にて被災状況を報告

全国・県農政連推薦  
参議院議員山田としおの

## 農政問題に斬り込む

「納得できない規制改革推進会議」

「コメ検査の見直し答申」

「自由な生産・流通・販売で、主食たるコメの安定供給は可能なのか」

コメの検査制度を廃止する議論が規制改革推進会議から出てきています。価格形成の基準も無くなり、数量も把握できないというのでは、豊作で過剰が出ても価格は相場に任せということになり、大混乱となります。

一方、不作時は数量を確保できず、価格は高騰します。国民の主食の安定供給の責任は誰がとるのでしょうか。

このような乱暴な議論のもと、コメの生産・流通・管理、その手段である検査や生産調整の目標達成についても、国として推進・指導の範囲のみの対応で、個々の農業者の判断にゆだねるといような取り組みになってしまっているのでしょうか。

国としては、こうした状態は放置できないのであって、コメ以外の作物の栽培誘導や、過剰分の主食用以外への仕向け等を行うことが何としても必要であり、少なくとも、コメ以外への転換、ないしは過剰分の扱いについての助成措置が必須です。政府の関係者は、一定の経営安定制度や助成措置を講じているとおっしゃるが、それなら、その誘導政策の内容や水準も同時に提示すべきなのです。

「JAの協同の取り組みこそが地域再生のカギ」

このままでは、条件不利地域等の脱落により、家族・村・地域が崩れかねず、それを支える手立てを講じなければなりません。政策で対処できない面は、各地で農協組織がつくられ、地域の協同の取り組みで乗り切ってきました。

ところが、その「協同」の取り組みを壊し、「自由な生産・流通・販売の競争の世界」株式会社への参入、競争と優勝劣敗でこそ、活力ある地域と農業者を作る」というのが、規制改革推進会議の発想です。

こんなことではいいのでしょうか。協同の理念を持った、地域の皆さんの忍耐力ある行動が求められるのです。その中で、JAがしっかりと役割を果たしてゆくことはありせんか。



▲水田農業振興議員連盟として江藤農林水産大臣に農産物検査を含めたコメ対策に関する申し入れを実施

参議院議員



Fujiki Shinya  
activity report

# 藤木しんや

## 活 動 報 告

令和2年7月豪雨からの  
復旧・復興に尽力します

新型コロナ対策に全力で  
立ち向かっています

より一層農政に多様な  
農家の声を反映させます



令和2年7月豪雨の被災地で復旧作業  
(JAあしきた本所)



JAあしきた 千々岩組合長から被害状況の  
説明を受ける(JAあしきた本所)



牧草ロールの流入被害を視察  
(JAくま管内)



JA全青協から豪雨被害支援の要請を受ける  
(右:田中圭介会長)



7月豪雨にかかる農水大臣との  
意見交換会に参加



県内JAへ挨拶まわり(JAくま)



休日に自宅の田植え